

エコ・スギバイオ の植え替え方法

国産杉間伐材のチップに土壌バクテリアを付着させた園芸用土。
保水力が高く、バクテリアの働きによって水の腐敗を防ぎ、清潔に保ちます。

STEP

1



▼材料

- ・エコ・スギバイオ
- ・ハイドロカルチャー苗
- ・ガラスなどの底穴が無い透明な器

▼道具

- ・スコップ
- ・トレー
- ・不織布の袋／
目の細かいざる 等

STEP

2



エコ・スギバイオは使用する前に適度にしつとりする程度に湿らせます。不織布の袋や目の細かいざるに入れて水に浸し、水から引き上げてご使用ください。チップ状で非常に軽いので、上から押して水に沈めながら濡らしていきます。

STEP

3



ハイドロカルチャー苗の下準備をします。根となるべく傷めないようにインナーポットをそっと外しましょう。根に付いたハイドロコーンは可能な範囲で取り除いておきます。オアシスはそのまま大丈夫です。溜め水か流水の中で軽く振り洗いをし、悪くなった根は切り取っておきます。

STEP

4



容器に適量のエコ・スギバイオを入れていきます。

STEP

5



苗を容器に入れたら、エコ・スギバイオを追加します。隙間がないように指で押し固めながら用土を足していくましょう。エコ・スギバイオは圧縮しながら植えていくので最終的に器の容積の1.2～1.3倍の量を使用します。最後にマルチング材で仕上げをするため、器の80～90%の高さになるように植えてください。

STEP

6



表面をならして全体を整えたら、エコ・スギバイオはチップ状で軽く舞いやすいのでマルチング材(砂利)を適度に被せて完成です。

完成



CHECK POINT

植え替え直後と、3～4ヶ月毎に専用の土壌活性剤「森の妖精」の使用を推奨します。

土壌バクテリアが含まれており、透明な容器でも水アカや藻をつきにくくします。

植え替えの作業は、植物が生育に適した気温(15～28℃)になる春～秋頃に行いましょう。

※気温が高すぎる真夏は避けます。

植え替えた植物が、新しい培地に定着するまで約1～2ヶ月程かかります。

その間は頻繁に置き場所を変えたり、施肥をせずに、光や気温・湿度が安定している環境に飾りましょう。



エコ・スギバイオ
森の妖精

Q&A

Q 水やりがわかりづらい

A チップが白っぽくなったら、容器の1/5程度の水をあたえます。ハイドロコーンと違い腰水の量ではなく、用土全体を保水して管理します。鉢底に水が溜まらないように注意し、水を入れすぎた場合は器を傾けて余分な水をすてます。

Q スギ花粉の影響が心配です

A エコ・スギバイオは、杉の表皮を除いた幹や枝を製材カットしてチップにした後に水で洗浄しておりますので、花粉の混入はありません。

Q 表面や器の中が黒くなってきた場合の対処法は？

A 杉の木に含まれる成分であるタンニンが浮き出てきたものです。商品の品質に問題はなく、水に浸してあく抜きできます。砂利の変色はキッチン用の漂白剤で落とすことができます。

Q 使用した培地は再利用可能ですか？

A 再利用可能です。水洗いと天日干した後に「森の妖精」を入れることにより何度も再利用できます。保管する際は、洗浄後しっかりと乾燥させてビニール袋等に入れて保管します。最終的に廃棄したい場合は、可燃物として処分できます。(※各自治体の処分方法に従ってください。)